

News Release



平成25年10月30日

各報道機関文教担当記者 殿

11/2 創基 150 年記念事業の掉尾を飾る 金沢大の発展を見守るシンボルを植樹

金沢大学は、2012年の創基 150 年を記念して、<先魁・共存・創造>のコンセプトのもと、2009 年度から「創基 150 年記念事業」を展開してきました。この事業の締めくくりとして、「創基 150 年記念植樹式」を挙行いたします。

植樹するのは「学問の木」「大器晩成の木」として知られる楷の木で、成長すると樹高が 30mにもなる大木です。金沢大学のさらなる発展とともに枝葉を繁らせ、「知の継承・知の創造」の拠点としての本学のシンボルとなることが期待されます。

つきましては、事前報道及び当日の取材について、よろしくお願いいたします。

金沢大学創基 150 年記念植樹式

日 時：平成25年11月2日（土） 11:00-11:30

※早めに終了する場合があります

会 場：科学の丘（角間キャンパス自然科学系図書館棟前広場）

ほか キャンパス内 4 か所同時開催（別図 1, 2 参照）

※取材は、メイン会場である科学の丘のみとさせていただきます

- 式次第：
1. 開式の辞 11:00～
 2. 開式学長挨拶 11:01～
 3. 土かけの儀 11:05～ ※学長をはじめ9名が順に土かけを行います
 4. 写真撮影 (土かけの儀が終了し次第)
 5. 閉式の辞 11:30 までに終了

出席者：金沢大学長 中村 信一

創基 150 年記念事業準備委員会委員長 柴田 正良 ほか

参 考：創基 150 年記念事業ホームページ

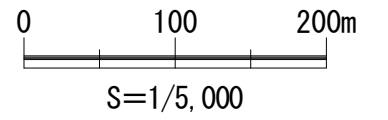
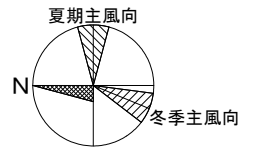
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/kanazawa150/index.html>

本件照会先：
総務部総務課 北村
TEL 076-264-5007

担当：
広報戦略室 本庄
TEL 076-264-5024

楷の木の植樹場所について (角間キャンパス)

北地区中央
北地区講義棟・研究棟群の中央にあり
学問・文化を感じる場所



至 俵町・医王山

メイン会場

科学の丘

南地区のフロント
ガーデンであり、
さまざまな人々が
潤いを感じられる
場所

● 楷の木 植樹場所

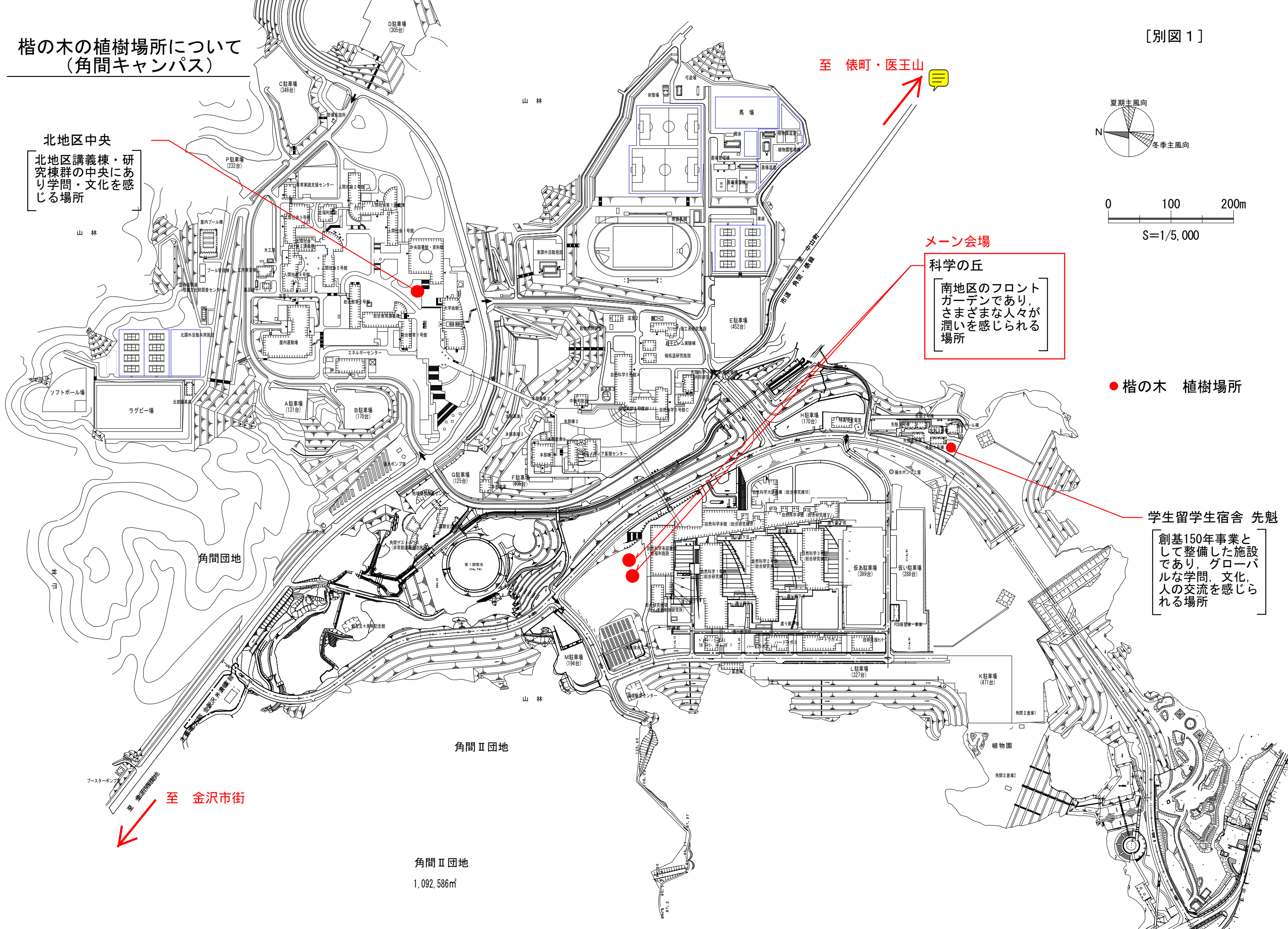
学生留学生宿舎 先魁

創基150年事業として
整備した施設であり、
グローバルな学問、文化、
人の交流を感じられる場所

至 金沢市街

角間Ⅱ団地

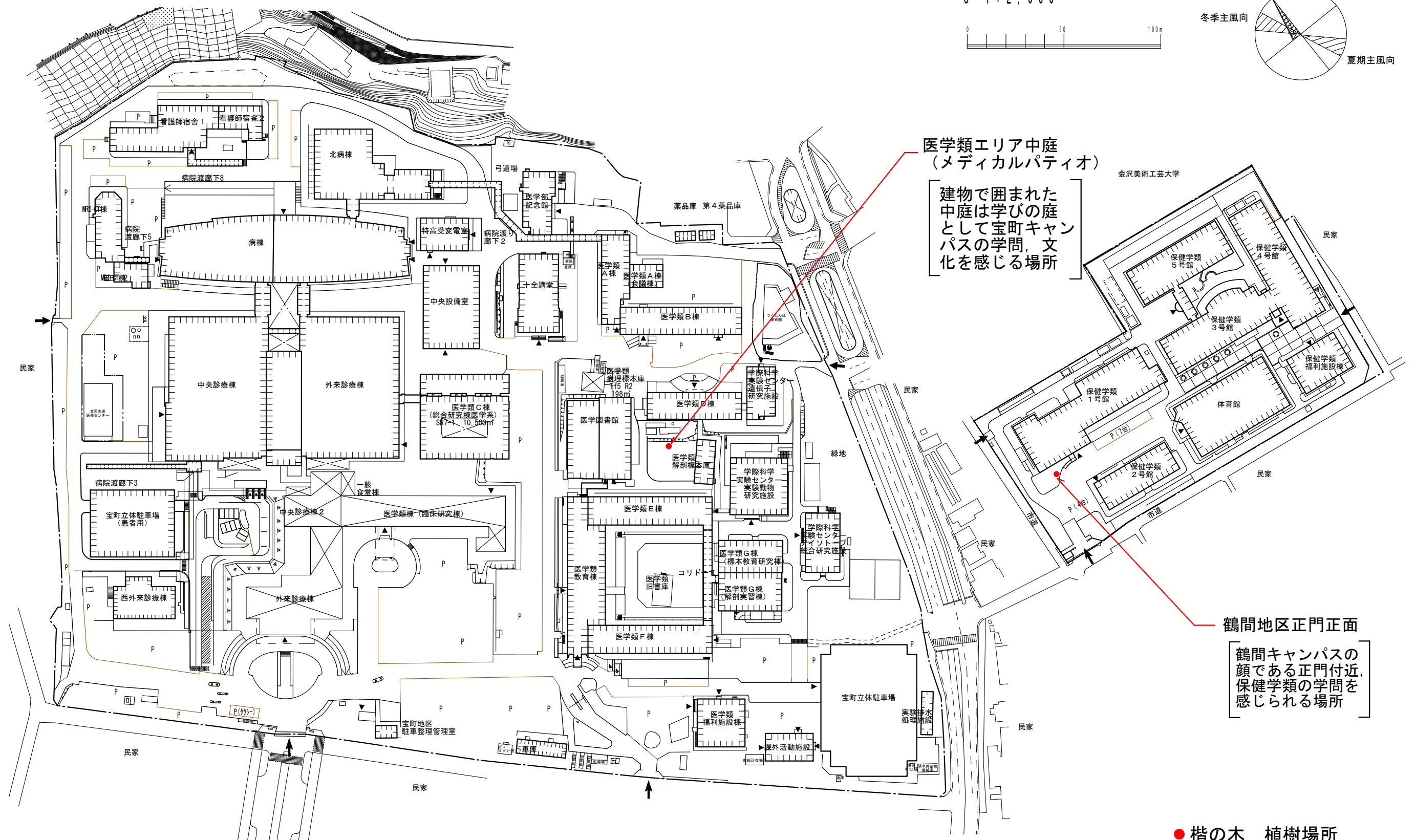
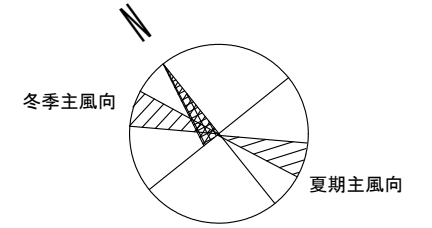
1,092,586㎡



楷の木の植樹場所について
(宝町・鶴間キャンパス)

[別図2]

S=1:2,000



医学類エリア中庭
(メディカルパティオ)

建物で囲まれた
中庭は学びの庭
として宝町キャン
パスの学問、文
化を感じる場所

鶴間地区正門正面

鶴間キャンパスの
顔である正門付近、
保健学類の学問を
感じられる場所

● 楷の木 植樹場所

楷樹の由来

ウルシ科カイノキ属の落葉高木（学名 *Pistacia chinensis* Bunge）。中国山東省曲阜の孔林（孔子廟）に孔子十哲の一人である子貢が植えて以来、植え継がれ、「学問の木」「大器晩成の木」として尊ばれてきました。

日本に初めて移入されたのは大正 4 年(1915)。初代林業試験場長の白澤保美氏（林学博士）が孔林で採取した種から育苗し、その苗を大正 14 年、閑谷学校・足利学校・湯島聖堂など儒学の精神を学ぶ地に寄贈しました。

また、楷の木（楷樹）が直角に枝分かれし、小葉が綺麗に揃っていることから、その樹枝の形状に似る書体を「楷書」と呼ぶようになったといわれています。

金沢大学 創基 150 年記念事業

金沢大学は、平成 24 年(2012)に、その源流となる加賀藩種痘所の設立(文久 2 年)から数えて 150 年目の節目を迎え、これを記念し楷の木を植樹することとしました。

やがて楷の木は、光り輝く金沢大学を見守る大樹に育ち、この木の下に、多くの人々が集う「知の継承と知の創造」の拠点たる金沢大学のシンボルとなることでしょう。